事業所名　　グループホームみんなの家

作成日：　令和　4年　3月25日

# 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

**【目標達成計画】**

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 14 | 年に1回内部研修を企画実施しているが、内容のマンネリ化防止、職員が興味を持つ内容など提供していく必要がある | ・職員が日々利用者に対する人権尊重を意識してかかわることができるようになるための研修の企画実施が出来るようになる | ・人権週間などで開催されている研修講話などの機会があれば参加する（職員）<br>・他の事業所の研修担当者などから助言をもらう | 10ヶ月 |
| 2 | 6・38 | 介護ロボット（見守り）や玄関に人感センサーなど設置して入居者の安全面に配慮しているが、今後そのことが職員視点で入居者の人権などに対する配慮が不足していく可能性がある | ・介護ロボットの使用しながらも入居者のプライバシーに配慮していくことができる<br>・介護ロボットにより利用者の行動を抑制しないよう職員が意識することができる | ・定期的な認知症の勉強会<br>・身体拘束・虐待の勉強会で介護ロボット（見守り）使用による利用者への精神的影響について考える機会を持つ | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。